

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成26年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 SBIホールディングス株式会社

コード番号 8473 URL <http://www.sbigroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 北尾 吉孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 森田 俊平 TEL 03-6229-0100

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	177,210	60.1	39,508	271.7	37,154	315.9	21,062	424.3	20,185	ー	36,139	411.8
25年3月期第3四半期	110,663	△11.1	10,630	△13.2	8,932	△17.3	4,018	△22.3	1,124	△34.8	7,062	ー

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	93.25	93.25
25年3月期第3四半期	5.17	5.17

(注) 1. 平成26年3月期第3四半期の親会社の所有者に帰属する四半期利益の対前年同四半期増減率は1,696.1%となっており、1,000%を超えるため「ー」と記載しております。

2. 平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した遡及調整後の基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を記載しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,192,281	394,198	330,982	10.4
25年3月期	2,494,387	360,535	303,299	12.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
26年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
26年3月期(予想)	ー	ー	ー	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

当企業グループが展開する投資・証券関連事業をはじめとする金融事業全般は、その特性上、株式市場等の変動要因による影響が極めて大きいため、業績予想の開示は行っておりませんが、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な業績予想が可能となった場合には、速やかにその開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

詳細は添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	224,561,761株	25年3月期	224,525,781株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	8,086,383株	25年3月期	8,098,446株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	216,458,833株	25年3月期3Q	217,285,812株

平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っているため、当該株式分割後の株式数を基準として遡及的に調整した期中平均株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定であります。また、この説明会で配布した資料、動画等につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

・平成26年2月5日（水）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 継続企業の前提に関する注記	10
(6) 要約四半期連結財務諸表注記	10
事業セグメント	10
収益	11
1株当たり四半期利益	11
重要な後発事象	11

※ 本第3四半期決算短信の添付資料においては、第3四半期連結会計期間を「第3四半期」、第3四半期連結累計期間を「第3四半期累計」、前連結会計年度を「前期」と記載しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計の経営成績につきましては、営業収益が177,210百万円(前年同期比60.1%増加)、営業利益は39,508百万円(同271.7%増加)、税引前四半期利益は37,154百万円(同315.9%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は20,185百万円(同1,696.1%増加)となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

	営業収益			税引前四半期利益		
	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	%	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	%
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金融サービス事業	76,934	109,030	41.7	7,542	28,475	277.6
アセットマネジメント事業	28,784	59,022	105.1	8,561	12,945	51.2
バイオ関連事業	690	2,139	210.2	(2,116)	(1,332)	—
計	106,408	170,191	59.9	13,987	40,088	186.6
その他	6,287	8,150	29.6	1,173	2,289	95.1
消去又は全社	(2,032)	(1,131)	—	(6,228)	(5,223)	—
連結	110,663	177,210	60.1	8,932	37,154	315.9

(%表示は対前年同期増減率)

(金融サービス事業)

証券関連事業、銀行業、保険事業、住宅ローンの貸出しに関する事業、クレジットカード事業、リース事業などの多種多様な金融関連事業及び金融商品等の情報提供に関する事業を行っております。

当第3四半期累計における営業収益は、109,030百万円(前年同期比41.7%増加)、税引前四半期利益は28,475百万円(同277.6%増加)となりました。

(アセットマネジメント事業)

国内外のIT、バイオ、環境・エネルギー及び金融関連のベンチャー企業等への投資に関する事業を行っております。

当第3四半期累計における営業収益は、59,022百万円(同105.1%増加)、税引前四半期利益は12,945百万円(同51.2%増加)となりました。当事業の営業収益は、主に営業投資有価証券から生ずる収益であり、公正価値の変動額も含まれております。なお、当事業の業績には、投資育成等のために取得した企業等のうち支配していると認められる企業を連結しているため、同企業の業績が含まれております。

(バイオ関連事業)

生体内に存在するアミノ酸の一種である5-アミノレブリン酸(ALA)(※)を活用した医薬品や、がん及び免疫分野における医薬品などの開発と販売に関する事業を行っております。

当第3四半期累計における営業収益は、2,139百万円(同210.2%増加)、税引前四半期利益は1,332百万円の損失(前年同期は2,116百万円の損失)となりました。

(※)5-アミノレブリン酸(ALA)とは、体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸で、ヘムやシクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与するたんぱく質の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られています。ALAは、焼酎粕や赤ワイン、かいわれ大根等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は3,192,281百万円となり、前期末の2,494,387百万円から697,894百万円の増加となりました。また、資本は前期末に比べ33,663百万円増加し、394,198百万円となりました。

なお、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は303,231百万円となり、前期末の133,362百万円から169,869百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、117,152百万円の収入（前第3四半期累計は39,988百万円の収入）となりました。これは主に、「顧客預金の増減」が98,378百万円の支出となった一方で、「税引前四半期利益」が37,154百万円、「営業債権及びその他の債権の増減」が96,904百万円及び「営業債務及びその他の債務の増減」が61,053百万円の収入となったこと等の要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,311百万円の収入（前第3四半期累計は1,578百万円の収入）となりました。これは主に、「投資有価証券の取得による支出」が7,330百万円となった一方で、「投資有価証券の売却による収入」が15,667百万円となったこと等の要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、40,519百万円の収入（前第3四半期累計は19,722百万円の支出）となりました。これは主に、「長期借入による収入」と「長期借入金の返済による支出」が純支出7,108百万円となった一方で、「短期借入金の純増減額」と「社債の発行による収入」及び「社債の償還による支出」が純収入52,757百万円となったこと等の要因によるものであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当企業グループが要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の新たに適用する基準を除き、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当企業グループは、第1四半期会計期間より以下の基準を適用しております。これらについては、要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

	基準書	新設・改訂の概要
IFRS第10号	連結財務諸表	支配の定義の明確化及びすべての企業に適用すべき連結の基礎としての支配の概念を設定
IFRS第11号	共同支配の取決め	法形態ではなくアレンジメント上の権利・義務に基づいた共同支配を有するアレンジメントに係る分類及び会計処理を設定
IFRS第12号	他の企業への関与の開示	子会社、ジョイント・アレンジメント、関連会社及び非連結の事業体を含む他の事業体への持分に関する開示要求
IFRS第13号	公正価値測定	すべての基準書で適用すべき公正価値測定の単一のガイダンスを設定
IAS第1号	財務諸表の表示	その他の包括利益の項目の表示方法を改訂
IAS第19号	従業員給付	数理計算上の差異及び過去勤務費用の認識、退職後給付の表示及び開示
IAS第28号	関連会社及び共同支配企業に対する投資	IFRS第10号、IFRS第11号及びIFRS第12号の公表に基づく変更
IAS第34号	期中財務報告	期中財務諸表において公正価値に関する注記の開示要求

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前期末 (2013年3月31日)	当第3四半期末 (2013年12月31日)
	百万円	百万円
資産		
現金及び現金同等物	133,362	303,231
営業債権及びその他の債権	412,477	336,157
証券業関連資産		
預託金	846,445	1,118,799
信用取引資産	164,935	175,551
その他の証券業関連資産	422,265	702,798
証券業関連資産計	1,433,645	1,997,148
その他の金融資産	26,694	33,753
営業投資有価証券	119,268	129,817
その他の投資有価証券	57,209	56,463
持分法で会計処理されている投資	35,689	38,948
投資不動産	36,355	37,154
有形固定資産	10,517	11,883
無形資産	185,581	202,995
その他の資産	29,928	36,362
繰延税金資産	13,662	8,370
資産合計	2,494,387	3,192,281
負債		
社債及び借入金	344,360	390,067
営業債務及びその他の債務	48,894	110,714
証券業関連負債		
信用取引負債	153,612	110,910
有価証券担保借入金	135,609	269,162
顧客からの預り金	387,310	606,254
受入保証金	372,440	531,852
その他の証券業関連負債	255,634	371,121
証券業関連負債計	1,304,605	1,889,299
顧客預金	376,177	336,959
未払法人所得税	2,192	8,108
その他の金融負債	35,371	38,202
その他の負債	15,430	16,235
繰延税金負債	6,823	8,499
負債合計	2,133,852	2,798,083
資本		
資本金	81,668	81,681
資本剰余金	160,550	154,773
自己株式	(5,117)	(5,140)
その他の資本の構成要素	6,196	20,678
利益剰余金	60,002	78,990
親会社の所有者に帰属する持分合計	303,299	330,982
非支配持分	57,236	63,216
資本合計	360,535	394,198
負債・資本合計	2,494,387	3,192,281

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

	前第3四半期累計 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)	当第3四半期累計 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)
	百万円	百万円
営業収益	110,663	177,210
営業費用		
営業原価	(40,281)	(47,540)
金融費用	(3,425)	(14,201)
販売費及び一般管理費	(54,231)	(71,128)
その他の費用	(933)	(5,064)
営業費用合計	(98,870)	(137,933)
持分法による投資利益	(1,163)	231
営業利益	10,630	39,508
その他の金融収益・費用		
その他の金融収益	462	459
その他の金融費用	(2,160)	(2,813)
その他の金融収益・費用合計	(1,698)	(2,354)
税引前四半期利益	8,932	37,154
法人所得税費用	(4,914)	(16,092)
四半期利益	4,018	21,062
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,124	20,185
非支配持分	2,894	877
四半期利益	4,018	21,062
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的(円)	5.17	93.25
希薄化後(円)	5.17	93.25

要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期累計 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)	当第3四半期累計 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	4,018	21,062
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	(686)	1,015
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	3,681	14,062
キャッシュ・フロー・ヘッジ	49	—
税引後その他の包括利益	3,044	15,077
四半期包括利益	7,062	36,139
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,000	35,640
非支配持分	3,062	499
四半期包括利益	7,062	36,139

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期累計(自2012年4月1日 至2012年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2012年4月1日残高	81,665	160,471	(3,180)	(1,363)	58,930	296,523	55,382	351,905
四半期利益	—	—	—	—	1,124	1,124	2,894	4,018
その他の包括利益	—	—	—	2,876	—	2,876	168	3,044
四半期包括利益合計	—	—	—	2,876	1,124	4,000	3,062	7,062
新規普通株式の発行	2	2	—	—	—	4	—	4
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	(1,022)	(1,022)
剰余金の配当	—	—	—	—	(2,208)	(2,208)	(2,514)	(4,722)
自己株式の取得	—	—	(2,013)	—	—	(2,013)	—	(2,013)
自己株式の処分	—	—	65	—	—	65	—	65
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	(1,408)	—	—	—	(1,408)	9,576	8,168
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	170	(170)	—	—	—
2012年12月31日残高	81,667	159,065	(5,128)	1,683	57,676	294,963	64,484	359,447

当第3四半期累計(自2013年4月1日 至2013年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2013年4月1日残高	81,668	160,550	(5,117)	6,196	60,002	303,299	57,236	360,535
四半期利益	—	—	—	—	20,185	20,185	877	21,062
その他の包括利益	—	—	—	15,455	—	15,455	(378)	15,077
四半期包括利益合計	—	—	—	15,455	20,185	35,640	499	36,139
新規普通株式の発行	13	13	—	—	—	26	—	26
転換社債型新株予約権付社債 の発行	—	1,632	—	—	—	1,632	—	1,632
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	125	125
剰余金の配当	—	—	—	—	(2,170)	(2,170)	(2,058)	(4,228)
自己株式の取得	—	—	(55)	—	—	(55)	—	(55)
自己株式の処分	—	1	32	—	—	33	—	33
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	(7,423)	—	—	—	(7,423)	7,414	(9)
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	(973)	973	—	—	—
2013年12月31日残高	81,681	154,773	(5,140)	20,678	78,990	330,982	63,216	394,198

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)	当第3四半期累計 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,932	37,154
減価償却費及び償却費	5,566	8,518
持分法による投資利益	1,163	(231)
受取利息及び受取配当金	(13,473)	(50,124)
支払利息	5,569	17,015
営業投資有価証券の増減	(9,395)	(3,262)
営業債権及びその他の債権の増減	(2,790)	96,904
営業債務及びその他の債務の増減	11,250	61,053
証券業関連資産及び負債の増減	34,551	21,111
顧客預金の増減	—	(98,378)
その他	(2,100)	(2,181)
小計	39,273	87,579
利息及び配当金の受取額	12,895	49,484
利息の支払額	(4,846)	(18,202)
法人所得税の支払額	(7,334)	(1,709)
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,988	117,152

	前第3四半期累計 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)	当第3四半期累計 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)
	百万円	百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	(2,932)	(3,821)
投資有価証券の取得による支出	(9,305)	(7,330)
投資有価証券の売却による収入	1,272	15,667
子会社の取得による支出	780	(2,057)
子会社の売却による収入	12,677	2,896
貸付による支出	(7,440)	(3,417)
貸付金の回収による収入	5,178	5,260
その他	1,348	(1,887)
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,578	5,311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	(31,460)	18,400
長期借入による収入	22,944	10,200
長期借入金の返済による支出	(19,731)	(17,308)
社債の発行による収入	63,945	99,827
社債の償還による支出	(60,540)	(65,470)
株式の発行による収入	5	26
非支配持分からの払込みによる収入	3,533	62
投資事業組合等における非支配持分からの出資受 入による収入	1,850	555
配当金の支払額	(2,210)	(2,160)
非支配持分への配当金の支払額	(467)	(529)
投資事業組合等における非支配持分への分配金支 払額	(1,941)	(2,049)
自己株式の取得による支出	(2,013)	(55)
非支配持分への子会社持分売却による収入	7,603	119
非支配持分からの子会社持分取得による支出	(145)	(145)
その他	(1,095)	(954)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(19,722)	40,519
現金及び現金同等物の増減額	21,844	162,982
現金及び現金同等物の期首残高	159,833	133,362
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	704	6,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	182,381	303,231

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表注記

事業セグメント

当企業グループは、インターネットを通じた金融に関する事業や国内外への投資に関する事業を中核に据えた総合金融グループとして事業を展開しており、これらに当企業グループ最大の成長分野と位置づけているバイオ関連事業を加えた主要3事業を報告セグメントとしております。

当企業グループの報告セグメントは、当企業グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、最高経営意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

報告セグメントの主な事業内容は、次のとおりであります。

(金融サービス事業)

金融サービス事業は、証券関連事業、銀行業、保険事業、住宅ローンの貸出しに関する事業、クレジットカード事業、リース事業などの多種多様な金融関連事業及び金融商品等の情報提供に関する事業を行っております。

(アセットマネジメント事業)

国内外のIT、バイオ、環境・エネルギー及び金融関連のベンチャー企業等への投資に関する事業を行っております。また、投資育成等のために取得したベンチャー企業等を連結範囲に含めており、同企業が行う事業が含まれております。

(バイオ関連事業)

生体内に存在するアミノ酸の一種である5-アミノレブリン酸(ALA)を活用した医薬品や、がん及び免疫分野における医薬品などの開発と販売に関する事業を行っております。

その他には、投資用収益物件の開発と販売やインターネットによる仲介サービスサイトの運営等を行う住宅不動産関連事業などが含まれますが、当第3四半期累計の報告セグメントと定義付けるための定量的な基準値を満たしておりません。

消去又は全社には、特定の事業セグメントに配賦されない損益及びセグメント間の内部取引消去が含まれております。なお、セグメント間の内部取引価格は市場実勢価格に基づいております。

当企業グループの報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

前第3四半期累計 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)

	金融サービス事業	アセットマネジメント事業	バイオ関連事業	計	その他	消去又は全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益	76,934	28,784	690	106,408	6,287	(2,032)	110,663
税引前四半期利益(損失)	7,542	8,561	(2,116)	13,987	1,173	(6,228)	8,932

当第3四半期累計 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)

	金融サービス事業	アセットマネジメント事業	バイオ関連事業	計	その他	消去又は全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益	109,030	59,022	2,139	170,191	8,150	(1,131)	177,210
税引前四半期利益(損失)	28,475	12,945	(1,332)	40,088	2,289	(5,223)	37,154

収益

	前第3四半期累計 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)	当第3四半期累計 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)
	百万円	百万円
営業収益		
金融収益		
受取利息(注)1	13,153	48,227
受取配当金	1,088	302
FVTPLの金融資産から生ずる収益	12,588	13,365
トレーディング損益	7,068	10,127
金融収益合計	33,897	72,021
役務の提供等による収益	53,001	79,342
段階取得に係る差益(注)2	2,762	-
その他の収益	21,003	25,847
営業収益合計	110,663	177,210
その他の金融収益		
受取利息		
償却原価で測定される金融資産	462	459
その他の金融収益合計	462	459

(注) 1. 金融収益の受取利息は、償却原価で測定される金融資産から生ずるものであります。

2. 前第3四半期累計の段階取得に係る差益は、SBIジャパンネクスト証券株式会社を関連会社から子会社化したことに伴い、当企業グループが支配獲得前に保有していた被取得企業の持分を支配獲得日の公正価値で再評価したことにより発生したものであります。

1株当たり四半期利益

親会社の所有者に帰属する基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益は次の情報に基づいて算定しております。

なお、2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っておりますので、当該株式分割後の株式数を基準として適及的に調整した株式数に基づき、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

	前第3四半期累計 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)	当第3四半期累計 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)
	百万円	百万円
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,124	20,185
加重平均株式数		
基本的加重平均普通株式数 (株)	217,285,812	216,458,833
希薄化効果：ストック・オプション (株)	18,381	8,635
希薄化効果調整後加重平均普通株式数 (株)	217,304,193	216,467,468
1株当たり四半期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的 (円)	5.17	93.25
希薄化後 (円)	5.17	93.25

(注) 希薄化後1株当たり四半期利益の計算においては、1株当たり四半期利益に逆希薄化効果をもつストック・オプションの行使を考慮していません。

重要な後発事象

該当事項はありません。